

**IBM TotalStorage™ Network Attached
Storage**



リリース 1.7 アップグレード・インストラクション

**IBM TotalStorage™ Network Attached
Storage**



リリース 1.7 アップグレード・インストラクション

本書は、IBM TotalStorage™ ファミリー製品のリリース 1.7 ソフトウェアおよび新しい版で断りのない限り、以降のすべてのリリースおよびモディフィケーションに適用されます。

本マニュアルに関するご意見やご感想は、次の URL からお送りください。今後の参考にさせていただきます。

<http://www.ibm.com/jp/manuals/main/mail.html>

なお、日本 IBM 発行のマニュアルはインターネット経由でもご購入いただけます。詳しくは

<http://www.ibm.com/jp/manuals/> の「ご注文について」をご覧ください。

(URL は、変更になる場合があります)

原 典： IBM TotalStorage™ Network Attached Storage
Release 1.7 Upgrade Instructions

発 行： 日本アイ・ピー・エム株式会社

担 当： ナショナル・ランゲージ・サポート

第1刷 2002.10

この文書では、平成明朝体™W3、平成明朝体™W9、平成角ゴシック体™W3、平成角ゴシック体™W5、および平成角ゴシック体™W7を使用しています。この(書体*)は、(財)日本規格協会と使用契約を締結し使用しているものです。フォントとして無断複製することは禁止されています。

注* 平成明朝体™W3、平成明朝体™W9、平成角ゴシック体™W3、
平成角ゴシック体™W5、平成角ゴシック体™W7

© Copyright International Business Machines Corporation 2002. All rights reserved.

© Copyright IBM Japan 2002

まえがき

本書には、次に挙げる IBM TotalStorage アプライアンス・モデルのソフトウェアをアップグレードするための説明が記載されています。

- IBM TotalStorage Network Attached Storage 300G モデル G00 および G25
- IBM TotalStorage Network Attached Storage 200 モデル 200 および 225
- IBM TotalStorage Network Attached Storage 300 モデル 325

注: 上記以外のモデルにこのアップグレードを使用しないでください。

- バージョン 1.0 からバージョン 1.5 へのアップグレードの情報については、1 ページの『第 1 章 リリース 1.0 修正パッケージのインストールの説明 (バージョン 1.0 からバージョン 1.5 へ)』を、
- バージョン 1.5 からバージョン 1.6 へのアップグレードの情報については、7 ページの『第 2 章 リリース 1.0 修正パッケージ 2 のインストールの説明 (バージョン 1.5 からバージョン 1.6 へ)』を、
- バージョン 1.6 からバージョン 1.7 へのアップグレードの情報については、13 ページの『第 3 章 リリース 1.0 修正パッケージのインストールの説明 (バージョン 1.6 からバージョン 1.7 へ)』を、

それぞれ参照してください。

重要: アップグレードは順を追って行う必要があります。たとえば、現在使用しているのがバージョン 1.5 であり、バージョン 1.7 にアップグレードする場合、バージョン 1.5 をバージョン 1.6 にアップグレードし、次にバージョン 1.6 をバージョン 1.7 にアップグレードする必要があります。バージョン 1.0 からバージョン 1.7 へ直接アップグレードすることはできません。

第 1 章 リリース 1.0 修正パッケージのインストールの説明 (バージョン 1.0 からバージョン 1.5 へ)

この章には、リリース 1.0 修正パッケージ用のインストールの説明が記載されています。これらの説明に示されている事項を行うと、IBM® TotalStorage Network Attached Storage アプライアンス (NAS アプライアンス) 上のバンドルされたソフトウェアのレベルはリリース 1.0 からリリース 1.5 へアップグレードされます。

次に挙げる NAS アプライアンス・ソフトウェア・バンドルのコンポーネントは、次にリストされているバージョンに更新されます。

- Columbia Data Products Persistent Storage Manager バージョン 2.2 (ビルド 2205)
- Microsoft® Server Appliance Kit バージョン 2.01 (ビルド 2204.2)
- Microsoft Services For UNIX® バージョン 2.2 (ビルド 2073.1)
- Microsoft Windows® Powered Service Pack 2 および Hotfix Q301625 (『Code Red』 ワーム用の Internet Information Services 修正)
- IBM Director Agent/Universal Manageability Services Extensions バージョン 2.2
- Tivoli® Storage Manager Client バージョン 4.2.0.0

次の新しいソフトウェア・コンポーネントが NAS アプライアンス ソフトウェア・バンドルに追加されます。

- Windows 2000 SNMP サービス

アップグレードの開始の準備

このセクションには、アップグレード・プロセスを開始する前に必要になる情報が記載されています。

キーボード、マウス、およびモニターの取り付け

アップグレードをインストールする前に、モニター、キーボード、およびマウスを取り付けておく必要があります。インストール手順の実施中にメッセージに応答できなければなりません。

アップグレード時のユーザー・データへのアクセス可能性

2 ノード・アプライアンス (NAS 300 モデル 325 または NAS 300G モデル G25) をアップグレードしている場合には、共用データ・ボリュームに保管されているユーザー・データは、アップグレード・プロセス全体にわたってアクセスすることができます。

1 ノード・アプライアンス (NAS 200 [モデル 200 またはモデル 225] あるいは NAS 300G モデル G00) をアップグレードしている場合には、そのノードがアップグレード・プロセス中に何回かリブートするので、ユーザーはアップグレード・プロセスの進行中、常時データにアクセスできるとは限りません。アップグレードの進行中には、どのユーザーもデータにアクセスすることがないようにすることを強くお勧めします。アップグレードを行っているときにどのユーザーもストレージに

アクセスしていないことを検証する方法に関する情報については、修正パッケージと一緒に配布されるリリース情報を参照してください。

ユーザー・データのバックアップ

通常はアップグレード・プログラムがデータ・ボリュームに保管されているユーザー・データに影響を与えることはありません。(ただし、アップグレードによって削除される持続イメージは例外です。これについては、『PSM (Persistent Storage Manager) 更新の注』を参照してください。)しかし、アップグレードを実行する前には、ユーザー・データをバックアップするようお勧めします。

SFU (Services for UNIX) 更新の注

1 ノード・アプライアンス (NAS 200 [モデル 200 またはモデル 225] あるいは NAS 300G モデル G00) をアップグレードしている場合には、アップグレード・プログラムは SFU 構成をリセットします。前に NFS のサーバー、PCNFS のサーバー、およびユーザー名マッピングにユーザーが適用したすべての構成は削除されます。さらに、すべての NFS ファイル共有は除去されます。アップグレードが完了した後で、SFU を再構成し、NFS ファイル共有を作成する必要が生じます。アップグレードを実行する前に、便宜上、現行の SFU 構成情報および NFS ファイル共有情報を記録しておいてください。

PSM (Persistent Storage Manager) 更新の注

アップグレード・プログラムは、アプライアンス上のすべての既存の持続イメージを削除します。

PSM 構成は、そのデフォルト構成にリセットされます。グローバル設定、ボリューム設定、および災害時回復の設定に対してユーザーが行なった変更は除去されます。ユーザーは、アップグレードが完了した後で、PSM を再構成する必要があります。アップグレードを実行する前に、現行の PSM 構成情報を記録しておくことをお勧めします。

アップグレードを実行する前に、次のようにして、すべての PSM スケジュール項目を除去します。

1. 「**IBMNAS Admin (IBM NAS 管理)**」アイコンをダブルクリックして、IBM NAS Administration (管理) コンソールを開始します。
2. 左側のペインで、「**Persistent Storage Manager**」を選択します。
3. 右側のペインで、「**Schedules (スケジュール)**」をクリックします。リスト中の各項目ごとに、項目を選択し、表示される「Delete Schedule (スケジュール削除)」パネルで「**Delete (削除)**」をクリックし、次に「**OK**」をクリックします。

アップグレードが完了したら、スケジュール項目を再作成することができます。

NAS 200 (モデル 200 またはモデル 225) あるいは NAS 300G モデル G00 をアップグレードしている場合には、Persistent Storage Manager の災害時回復ソリューション (本製品の *User's Reference* またはリリース情報に説明がある) を使用できるようにするために、Maintenance (保守) 区画を NTFS から FAT32 へ再フォーマット

ト設定する必要があります。この設定は、アプライアンスをアップグレードする前、または後で実行することができます。Maintenance (保守) 区画を再フォーマット設定するには、次のようにします。

1. 「**IBM NAS Admin (IBM NAS 管理)**」アイコンをダブルクリックして、IBM NAS Administration (IBM NAS 管理) コンソールを開始する。
2. 左側のペインで、「**Computer Management (コンピューター管理)**」を、次に「**Disk Management (ディスク管理)**」を選択する。
3. 右側のペインで、「Maintenance (D:) (保守 (D:))」区画を右マウス・ボタン・クリックし、次に「**Format...(フォーマット...)**」をクリックする。
4. 「Format (D:) (フォーマット (D:))」ダイアログ・ボックスで、ファイル・システムとして「**FAT32**」を選択し、次に「**OK**」をクリックする。

これで区画はフォーマット設定されます。フォーマット設定が完了すると、区画の状況は「*Healthy (健全)*」と表示されるはずであり、他のプロパティは、名前「*Maintenance (保守)*」、ドライブ文字「*D:*」、ファイル・システム「*FAT32*」、サイズ (約)「*5.9 GB*」と表示されるはずです。

アップグレードの実行

注:

1. このセクションでは、『ノード』という語は、NAS アプライアンスの単一のノード、すなわちエンジンを指します。2 ノード・アプライアンス (NAS 300 モデル 325 または NAS 300G モデル G25) をアップグレードしている場合には、一度に一つずつ、両方のノードについてこの手順を行う必要があります。
2. アップグレード・プログラムは自動的に作動します。ただし、以下の手順で示すとおり、ユーザーの介入が必要な場合があります。アップグレード・プログラムによって、または以下の手順で示されない限り、(キーボードまたはマウスを使って) アップグレード・プログラムと対話しない ください。
3. アップグレード・プロセスの途中で、ノードは自動的に何回かリブートします。次の点に注意してください。
 - リブートのたびごとに、アップグレード・プログラムがバックグラウンドでデータまたはファイルを書き込んでいるときに、シャットダウン・フェーズに 5 分かかることがあります。
 - 各リブートの後で、「**Ctrl+Alt+Del**」を押し、次にパスワードを入力してログインするように求められることがあります。ログオンした後、アップグレードは自動的に再開します。

アップグレードを実行するには、以下のステップを行います。

1. 実行中のすべてのアプリケーションをクローズする。
2. リリース 1.0 修正パッケージ CD 1 をノードの CD-ROM ドライブに挿入する。
3. 「**My Computer (マイコンピュータ)**」をダブルクリックし、「**CD-ROM drive (CD-ROM ドライブ)**」をダブルクリックし、「**NASUpgrade**」をダブルクリックし、次に「**upgrade.exe**」ファイルをダブルクリックしてアップグレード・プログラムを開始します。

4. アップグレード・プログラムはまず PSM を、次に サーバー・アプライアンス・キット (SAK) を除去します。 SAK の除去の進行中に、一度にひとつずつ 3 つのメッセージ・ボックスが現れます。各メッセージ・ボックスで、「OK」をクリックします。 SAK の除去が完了すると、ノードはリブートします。
5. リブートの後、SFU は、前にインストールされていた任意のホット・フィックスも含めて、除去されます。ホット・フィックスが除去された場合には、メッセージ・ボックスにはディスクを除去し、「OK」をクリックしてリブートを行うよう指示するプロンプトが出されます。「OK」をクリックします。ホット・フィックスが除去されない場合には、ノードはこのメッセージ・ボックスを表示せずに自動的にリブートします。
6. リブートの後、Windows Powered Service Pack 2 がインストールされ、次いで SFU、SAK、PSM および Tivoli Storage Manager (TSM) Client の更新済みバージョンがインストールされます。このフェーズ中に、修正パッケージ CD 2 を挿入するようプロンプトが出されます。修正パッケージ CD 1 を CD-ROM ドライブから取り出し、修正パッケージ CD 2 を挿入し、次に **メッセージ・ボックス** で「OK」をクリックしてアップグレードを再開します。
7. 次に IBM Director Agent および Universal Manageability Services (UMS) 拡張機能が更新されます。ノードはこのフェーズ中に 2 回、1 度は更新された IBM Director Agent のインストール後、もう 1 度は更新された UMS 拡張機能のインストール後にリブートします。
8. リブート後に、アップグレード・プログラムは UMS 用の Internet Information Services (IIS) 構成の更新のための手順を説明するパネルを表示します。 IIS を構成するためには次の手順を行います。
 - a. 「Start (スタート)」メニューを開いて、「**Programs (プログラム)**」 → 「**Administrative Tool (管理ツール)**」 → 「**Internet Services (インターネット・サービス)**」を選択することにより Internet Services Manager を起動する。
 - b. 左側のペインで、ノード・マシン名を右マウス・ボタン・クリックし、「**Backup/Restore Configuration (構成のバックアップ/復元)**」を選択する。
 - c. 「NFDconfig222.MD0」 ファイルを選択し、「**Restore (復元)**」をクリックする。
 - d. 左側のペインで、ノードのマシン名を展開し、「**IBM UMS**」を右マウス・ボタン・クリックし、「**Restart (再始動)**」を選択して UMS を再始動させる。
 - e. UMS が再始動すると、完了のメッセージ・ボックスが表示される。このメッセージ・ボックスで「OK」をクリックし、次にアップグレード・プログラムの「IIS 構成」パネルで「OK」をクリックしてアップグレードを続行します。
9. アップグレード・プログラムは SNMP インストール手順を説明するパネルを表示する。 SNMP のインストールを完了させるには、修正パッケージと一緒に提供される補足 CD (バージョン 1.5) が必要です。プロンプトが出されたら、次のステップを行い、補足 CD を挿入します。
 - a. 「Start (スタート)」メニューを開き、「**Settings (設定)**」 → 「**Control Panel (コントロール・パネル)**」 → 「**Add/Remove Programs (プログラムの追加/除去)**」と選択する。

- b. 「**Add/Remove Windows Components (Windows コンポーネントの追加/除去)**」を選択する。
 - c. 管理ツールおよびモニター・ツール用のチェック・ボックスを選択して、「**Details (詳細)**」をクリックし、SNMP が選択されたことを確かめる。前のパネルに戻り、「**Next (次へ)**」をクリックします。
 - d. SNMP を選択する。ウィザードが完了したら、「**Finish (終了)**」をクリックします。
 - e. メッセージ・ボックスは、システムを直ちにリブートしたいかどうかを尋ねる。「**Yes (はい)**」をクリックします。
10. リブート後、アップグレードが完了したことを示すメッセージ・ボックスが現れる。「**OK**」をクリックし、次に 修正パッケージ CD 2 を CD-ROM ドライブから取り出します。ここで、アップグレードを実行するために取り付けられたキーボード、マウス、およびモニターを取り外すことができます。
 11. NAS アプライアンスが 2 ノード・アプリケーションであり、もう一方のノードをまだアップグレードしていない場合には、この手順のステップ 1 から 10 までを使用して、そのアップグレードも行う。
 12. NAS アプライアンスのすべてのノードのアップグレードを完了したら、1 ページの『アップグレードの開始の準備』に記載されているように、アップグレードによって削除された構成の変更 (これには SFU および PSM 構成変更も含まれる) を適用し直す。アプライアンスは、これでリリース 1.5 ソフトウェア・レベルで使用できる状態になっています。
- 注:** アプライアンスをレベル 1.6 アップグレードするには、7 ページの『第 2 章 リリース 1.0 修正パッケージ 2 のインストールの説明 (バージョン 1.5 からバージョン 1.6 へ)』に進みます。

第 2 章 リリース 1.0 修正パッケージ 2 のインストールの説明 (バージョン 1.5 からバージョン 1.6 へ)

紹介

リリース 1.0 修正パッケージ 2 CD 上のアップグレード・プログラムは、IBM TotalStorage Network Attached Storage アプライアンス上のソフトウェアを、バージョン 1.5 からバージョン 1.6 へアップグレードします。このアップグレード・プログラムは、バージョン 1.5 ソフトウェアを実行しているアプライアンスでしか実行できません。バージョン 1.0 ソフトウェアを実行しているアプライアンスをもっている場合には、修正パッケージ 2 を使用してアップグレードを行う前に、そのソフトウェアを (リリース 1.0 修正パッケージ 1 を使用して) バージョン 1.5 のレベルにアップグレードする必要があります (リリース 1.0 修正パッケージ 1 CD は、リリース 1.0 修正パッケージ 2 CD が入っているアップグレード・キットに組み込まれています。)

リリース 1.0 修正パッケージ 2 には、以下のソフトウェア更新が入っています。

- MultiLanguage User Interface (MUI) インストール
- GB18030 準拠インストール
- Columbia Data Products Persistent Storage Manager バージョン 2.2 (ビルド 2216.3)
- Tivoli Storage Manager (TSM) Client バージョン 4.2.1.2 および Storage Agent バージョン 4.1.9
- Server Appliance Kit (SAK) Language Kit
- 10/100 Ethernet Adapter Teaming Kit
- その他のツール

アップグレードの開始の準備

重要:

1. アップグレードを開始する前に、保持しておきたいデータはすべてバックアップしておきます。MultiLanguage User Interface (MUI) インストールの場合、修正パッケージ 2 と一緒に提供される MUI CD が必要です。
2. クラスタ化環境 (300 または 300G モデル G25) の場合には、アップグレード処理中にリソースが正しくフェイルオーバーできるようにするために、両方のノードが作動可能であるようにしてください。

アップグレードの開始

実行中のアプリケーションをすべてクローズし、アップグレード修正パッケージ 2 CD を CD-ROM ドライブに挿入します。これによって、NASUpgrade¥upgrade.exe が自動的に開始します。

プログラムが開始するときに、現在、ソフトウェア・レベル 1.5 の状態であることを検証するために、アプライアンスの現行のソフトウェア・レベルが検査されま
す。次のメッセージが現れます。

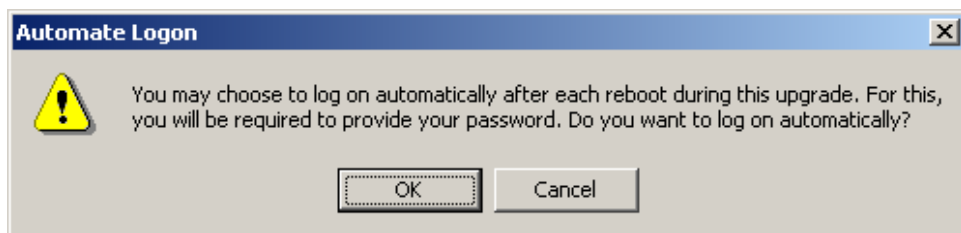


上記のメッセージに述べられているように、ユーザーは、管理者特権で、ローカル
にアプライアンスにログオンする必要があります。ドメインにログオンした場合に
は、このメッセージが出されたときに「**Cancel (取り消し)**」をクリックし、ログ
オフし、ローカルにログオンして、このアップグレード・ユーティリティを再始
動し直してください。

重要: これが、アップグレード・プロセスを取り消す唯一の機会です。先へ進むよ
うに選択すると、アップグレードはアップグレード・プロセスが完了するまですべ
てのステップにわたって続行されます。

アップグレードの実行

このプログラムは 7 ~ 8 回システムをリブートします。ログオン・プロシージャ
を自動化するオプションがあります。次のメッセージによって、このオプション
を選択することができます。



「**OK**」をクリックすると、アプライアンスにローカルでログオンするためにパスワ
ードを入力するようプロンプトが出されます。「**Cancel (取り消し)**」をクリックす
ると、アップグレード処理は自動ログオン・オプションを設定せずに続行されま
す。

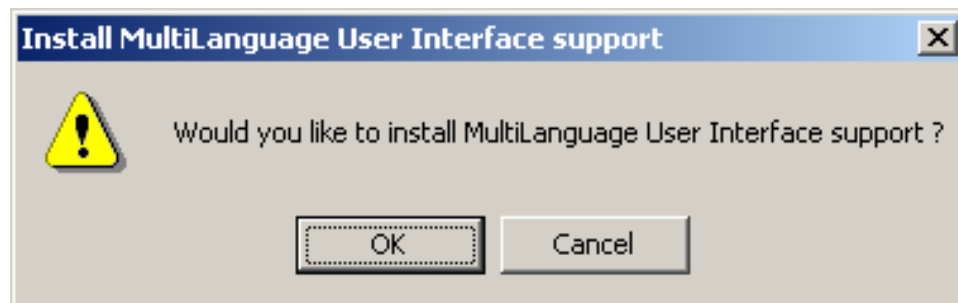


注: パスワードを入力するときには注意してタイプしてください。パスワードの入力が正しくないと、システムは、リポートのたびにユーザーをログオンすることができなくなり、ユーザーは正しいパスワードを手動で入力する必要があります。やり方を変えて、このダイアログで「**No (いいえ)**」をクリックすると、アップグレードの処理は、リポート時に自動的にログオンするオプションを設定せずに続行します。

次に、アップグレード・プログラムは次に挙げることを行います。

1. MultiLanguage User Interface (MUI) サポートのインストール。

プログラムは、MultiLanguage User Interface をインストールする選択肢を提供します。「**Cancel (取り消し)**」をクリックすると、プログラムは MUI のインストールをとばし、他のアップグレード処理を続けます。

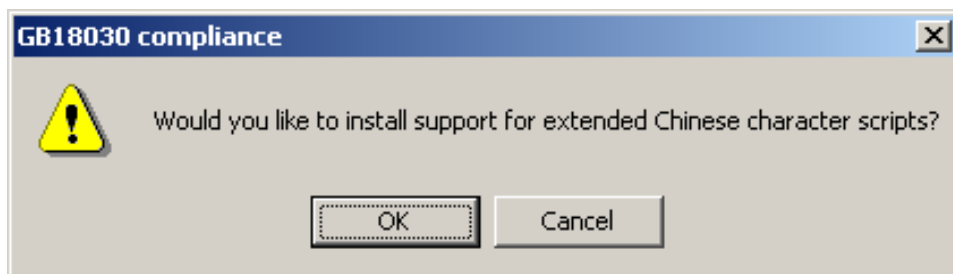


MUI をインストールすることを選択すると、プログラムは従うべきことについての説明を行います。次のパネルが表示されます。そこに示されているステップを行って、終わったら「**OK**」をクリックします。Windows 2000 CD を挿入するように指示するプロンプトが出されたら、補足 CD を挿入してください。MUI インストールがファイルを見つけることができず、パネルを表示した場合には、「**Browse (ブラウズ)**」をクリックし、ファイルを強調表示して、「**OK**」をクリックします。リポートするように指示するプロンプトが出された場合には、「**No**」をクリックします。



2. GB18030 準拠。

拡張中国語文字スクリプトのサポートをインストールしたい場合には、アップグレード・プログラムがプロンプトを出します。次のプロンプトに対して「OK」をクリックすると、プログラムは GB18030 準拠の GBEXTSUP.exe を実行します。いくつかの中国語のパネルが現れます。

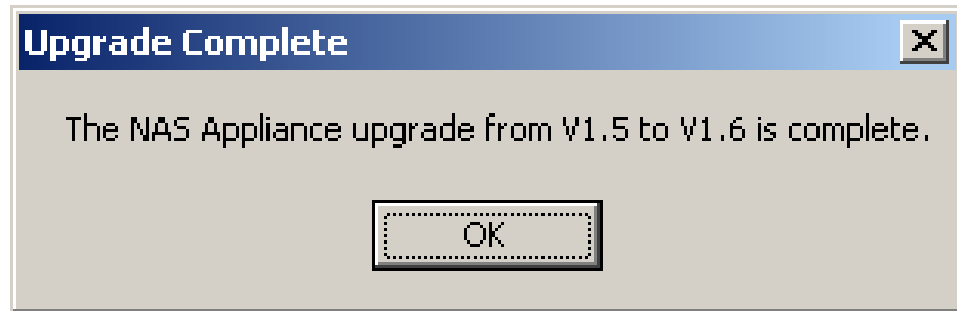


注: アップグレード・プログラムは GB18030 インストール・パネル上の選択を自動的に行います。どのキーも押さないでください。

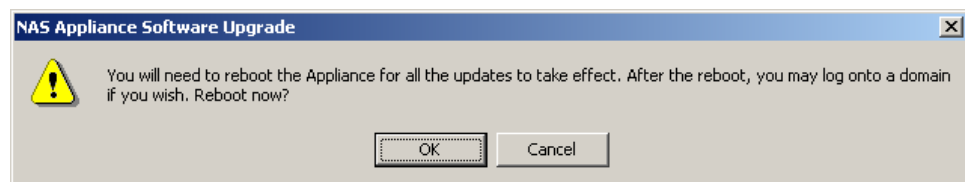
3. ステップ 1 で MUI インストールを選択した場合には、アップグレードは 1.6 アップグレード CD を CD-ROM ドライブに再度挿入してアップグレード処理を続行するようにプロンプトを出す。
4. ツールおよび修正をコピーし、システムのセットアップと構成を更新する。
5. PSM をアップグレードする。
6. SAK Language Kit をインストールする。
7. TSM Client をアップグレードし、TSM Storage Agent をインストールする。
8. プログラムは修正を Microsoft Windows Powered オペレーティング・システムにインストールし続ける。これらの 5 つの修正ごとに、システムは 1 回リブートし、アップグレード処理を続行します。

アップグレードの完了

アップグレード・プロセスが完了すると、次のメッセージが表示されます。



次のメッセージはアップグレード・プロセスの最後のメッセージです。マシンをリブートするために、次のダイアログ・パネルで「OK」をクリックします。



マシンをリブートすると、このアップグレードのプロセスを完了します。

注: アプライアンスをレベル 1.7 にアップグレードするには、13 ページの『第 3 章 リリース 1.0 修正パッケージのインストールの説明 (バージョン 1.6 からバージョン 1.7 へ)』に進みます。

第 3 章 リリース 1.0 修正パッケージのインストールの説明 (バージョン 1.6 からバージョン 1.7 へ)

紹介

この修正パッケージ CD 上のアップグレード・プログラムは、IBM TotalStorage NAS アプライアンス上のソフトウェアをバージョン 1.6 からバージョン 1.7 へアップグレードします。このアップグレード・プログラムは、バージョン 1.6 ソフトウェアを実行している NAS アプライアンスでしか実行できません。

この修正パッケージには、RFA で説明されている他のものと共に、次に挙げるソフトウェア更新が入っています。

- ServeRAID 4.84
- Intel ProSet II バージョン 5.1.71.0
- Alacritech SLICuser パッケージ 5.15.0
- ドライバーおよびファームウェアのアップグレード
 - ServeRAID™ Driver バージョン 4.84
 - Intel Ethernet Gigabit バージョン 3.63.363.00
 - IBM Ethernet 10/100 バージョン 5.41.27
 - Alacritech Quad-Port Ethernet Adapter バージョン 5.15.0
 - Adaptec 2944UW SCSI HVD SCSI 5.0.2182.1

アップグレードの開始の準備

重要:

1. アップグレードを開始する前に、保持しておきたいデータはすべてバックアップしておきます。ブランク・ディスクを 1 枚用意しておきます。
2. クラスタ化環境 (NAS 300 または NAS 300G モデル G25) の場合には、アップグレード・プロセスを開始する前に、システムが、アップグレードされていないノードにフェイルオーバーしたことを確認してください。アップグレードが完了したら、他のノードをフェイルバックし、アップグレードします。

アップグレードの実行

1. このアップグレードを開始する前に、アプライアンス上のすべてのアプリケーションをクローズする。
2. 必ずローカルにログオンする。アップグレード・プロセスの進行中のそれぞれの自動的リブートの後で、ユーザーはアプライアンスにローカルにログオンする必要があります。ドメインにはログオンしないでください。ドメインにログオンしている場合には、アップグレード・プロセスを続行しないでください。ドメインからログオフし、アプライアンスにローカルにログオンします。アプライアンスにローカルにログオンすれば、アップグレードを開始することができます。

3. CD をアプライアンスの CD-ROM ドライブに挿入します。プログラムが開始するときに、現在、ソフトウェア・レベル 1.6 の状態であることを検証するために、アプライアンスの現行のソフトウェア・レベルが検査されます。
4. よく読んで、プロンプトの指示に従います。パネルによっては、アップグレードが正しく行われるために従う必要のあるステップがいくつか含まれています。

重要: これが、アップグレード・プロセスを取り消す唯一の機会です。先へ進むように選択すると、アップグレードは、アップグレード・プロセスが完了するまですべてのステップにわたって続行されます。
5. システムがリブートするたびに (システムは 8 ~ 9 回リブートする) ログオンしなくても済むように、ログオン・プロシーチャーを自動化することができます。「Automate Logon (ログオンの自動化)」ダイアログ・ボックスが表示されたときに、「**Yes (はい)**」をクリックして、アップグレードの進行中の各リブートの後で自動的にログオンが行われるようにします。このダイアログ・ボックスで「**No (いいえ)**」または「**Cancel (取り消し)**」をクリックした場合には、リブートが行われるごとに手動でログオンを行う必要があります。
6. 「Automate Logon (ログオンの自動化)」ダイアログ・ボックスで「**Yes (はい)**」をクリックした場合には、アプライアンスにローカルでログオンするためにパスワードを入力するようプロンプトが出されます。「**Cancel (取り消し)**」をクリックした場合には、アップグレード・プロセスは自動化ログオン・オプションを設定せずに続行されます。

注: パスワードを入力するときには注意してタイプしてください。パスワードの入力が正しくないと、システムは、リブートのたびにユーザーをログオンすることができなくなり、ユーザーは正しいパスワードを手動で入力する必要があります。やり方を変えて、このダイアログに「**No (いいえ)**」をクリックすると、アップグレード・プロセスは、リブート時に自動的にログオンするオプションを設定せずに続行します。
7. プロンプトが出されたらブランク・ディスクを挿入します。このアップグレード・プロセスは、いくつかの互いに異なるアダプターを新しいドライバーまたはファームウェア (あるいはその両方) を新しいレベルにします。アップグレード・プロセスはブート可能ディスクを作成し、アプライアンスをリブートし、アダプターを自動的にリフレッシュします。
8. アップグレードが完了すると、ソフトウェアのアップグレードを続行できるようにするために、ディスクを取り出しアプライアンスをリブートするように指示するプロンプトが出されます。アプライアンスをリブートする前に、CD がまだ CD-ROM ドライブに入っていることを確認してください。

アップグレードの完了

1. アップグレードが完了したというメッセージが現れたら、「**OK**」をクリックする。
2. 最後の更新が有効になるように、アプライアンスをもう一度リブートするよう指示される。「**Yes (はい)**」をクリックします。アプライアンスがリブートしたら、ドメインにログオンすることができます。

商標

IBM、IBM ロゴ、ServeRAID、Tivoli、および TotalStorage は International Business Machines Corporation または Tivoli Systems Inc の商標または登録商標です。

Microsoft、Windows、Windows NT および Windows ロゴは、米国およびその他の国における商標です。

Intel は、Intel Corporation の米国およびその他の国における商標です。

UNIX は、The Open Group がライセンスしている米国およびその他の国における登録商標です。

他の会社名、製品名およびサービス名などはそれぞれ各社の商標または登録商標です。



Printed in Japan